

21 世紀の西南学院－課題、基本方針、計画－

【2008年度版】

“Impacting the World”

2008年4月1日

西南学院将来計画委員会

21世紀の西南学院－課題、基本方針、計画－【2008年度版】

“Impacting the World”

【西南学院の使命】

『学校法人西南学院は、「キリストに忠実なれ」の建学の精神に基づいて真理の探究及び優れた人格の形成に励み、地域社会及び国際社会に奉仕する創造的な人材を育てることを使命とする。』（1999年3月12日理事会承認）

【「21世紀の西南学院」のテーマ】

『“Impacting the World”』

- ①世界を導く力 真理に基づいて、世界を導く力を養う。
- ②先駆ける精神 他に先駆けて、善と正義を実行しようとする精神を養う。
- ③思いやりの心 他者、社会、そして地球を思いやる心を養う。

将来計画委員会は、使命と理念の実現のために、以下の6項目の充実と強化を進めます。

指定された担当組織は、特色のある実施計画を作成し、実現に向けて推進していただきますよう、お願いいたします。

【充実と強化が必要な6つの課題】

1. 保育・教育の充実と強化

キリスト教主義に基づく人格教育を基礎として、学生、生徒、園児一人ひとりの個性と能力を伸ばすことができるように、保育・教育の充実と強化を進めます。

2. 研究の充実と強化

社会の先導、社会への貢献を目指して、大学における研究機能の充実と強化を進めます。

3. 施設・設備の充実と強化

遊び、学習、教育、研究、生活の各場面が機能的、快適であるように、また景観の向上ができるように、施設・設備の充実と強化を進めます。

4. 財政の充実と強化

西南学院の事業推進と使命達成が可能となるように、資金の獲得、運用、配分、支出に至る財政の充実と強化を進めます。

5. 経営の充実と強化

環境変化に柔軟に対応し、継続して各種の変革が可能となるように、経営の充実と強化を進めます。

6. 地域貢献の充実と強化

西南学院が持っている知的資産と奉仕の精神を地域の活性化と発展に役立てるために、地域貢献の充実と強化を進めます。

【課題と基本方針】

1. 保育・教育の充実と強化

キリスト教主義に基づく人格教育を基礎として、学生、生徒、園児一人ひとりの個性と能力を伸ばし、その個性と能力を生かして世界へ貢献することができるように、保育・教育の充実と強化を進めます。

(1) 保育園・幼稚園

- ①保育の特色の強化：保育の基本方針を前面に出し、特色ある保育を強化する。
- ②両園の連携強化：施設上の利便性を生かし、両園の連携を強化する。
- ③地域との連携の強化：地域の児童福祉、老人福祉の問題を協働して解決するために、地域との連携を強化する。
- ④大学との連携強化：大学との連携を強め、研究・実習園としての機能を強化する。

(2) 小学校

- ①個人の人格の尊重と心の平安の保持：心身の健康（心と体のつながり）、個人の能力の開発、一人ひとりの適性を発見する。
- ②社会・地域との連携：お互いが良い刺激を受け合い、ともに子供たちの成長に貢献するための教育活動を展開する。
- ③自然と平和の尊重：自然環境を地球レベルで認識する力や国際社会の連携と人類の責任を、歴史的視点から考えることのできる目を養う。
- ④人事体制の整備：教育の理念を実現できるように、適正な人事体制を整備する。
- ⑤財政の安定化：質の高い教育を継続して提供することが可能な財政制度を整備する。

(3) 中学校・高等学校

- ①教育の特色の強化：建学の精神に基づく人格教育、国際的な視野を備えることができる教育、個性を生かすことができる教育を強化する。
- ②カリキュラムの充実：授業時間割を再編成し、カリキュラムを充実する。
- ③授業内容の充実：学力や知識レベルを向上させ、進路を保証できるように授業内容を充実する。
- ④生徒指導の強化：服装を含め、社会的なルールとマナーの指導を強化する。
- ⑤課外活動の強化：文系・体育系の課外活動を充実する。
- ⑥一貫教育の充実：一貫教育の利点を活かし、高校卒業後の進路保証を強化するように、中高一貫教育を充実する。また、大学への進学も充実する。
- ⑦生徒サービスの充実：課外活動、進路指導、各種相談、経済支援、その他学生生活を支援（バックアップ）する各種サービス制度、内容を充実する。
- ⑧教員の採用・研修制度の充実：質の高い教育を提供するために採用・研修制度を充実する。

(4) 大学

- ①人格教育の強化：建学の精神に基づく人格教育を充実する。
- ②カリキュラムの充実：各学部の理念及び育成する人材像を視野に入れて、カリキュラムを充実する。
- ③教育内容・方法の充実：
 - i 演習形式、ディスカッション方式等、一方向的ではない授業を充実する。

- ii 語学力強化、国際的な視野を備えることができる教育を充実する。
- iii 学習意欲を育成し、卒業後の進路を視野に入れたキャリア教育を充実する。
- ④入試制度の充実：学習意欲の高い学生を選抜するために入試制度を継続して改革する。
- ⑤課外活動の強化：文系・体育系の課外活動を充実する。
- ⑥学生サービスの充実：学修（習）支援、課外活動、社会的活動、進路指導・相談、各種相談、経済支援、その他学生生活を支援（バックアップ）する各種サービス制度、内容を充実する。
- ⑦教員の採用・研修制度の充実：質の高い教育を提供するために、採用・研修制度を充実する。
- ⑧学部・学科の新設・改編：社会と受験生の需要を充足するために、本学の特色を反映する分野、理工系分野、学際領域の学部・学科を充実する。
- ⑨大学間連携の強化：学生、教職員の交流、単位互換や合同行事等を充実する。

2. 研究の充実と強化

社会の先導、社会への貢献を目指して、大学における研究機能の充実と強化を進めます。

- ①研究体制の強化：研究所の設置、資金獲得、時間確保、研究補助員の配置（新設）など、研究体制を強化する。
- ②学外資金獲得の強化：組織、制度を整備し、学外資金獲得を強化する。
- ③動機付けの強化：意欲ある教員への研究費の傾斜配分、出版奨励金等のインセンティブの充実、業績評価など、研究に対する動機付けを強化する。
- ④大学院の強化：以下の諸方策により、大学院を強化する。
 - i 大学院研究科、専攻の新設・改編
 - ii 独立大学院設置構想の検討
 - iii 専門職大学院増設構想の検討
 - iv 大学院の学生受入れ制度の柔構造化：昼夜開講制度、社会人のリカレント教育制度及び長期履修学生制度等、学生の学習・研究機会を柔軟に充実・拡大する。
 - v 連携大学院・連合大学院構想の実現
 - vi 大学院専任教員制度の検討
- ⑤院生サービスの充実：社会的活動、進路指導・相談、各種相談、経済支援、その他学生生活を支援する各種サービス制度、内容を充実し、教育・研究環境を改善する。

3. 施設・設備の充実と強化

遊び、学習、教育、研究、生活の各場面が機能的、快適であるように、また景観の向上ができるように、施設・設備の充実と強化を進めます。

- ① 洗練されたキャンパス作りの強化：機能的で景観的に優れ、統一のとれたキャンパスを作るために、ランドデザインに基づく計画的な整備を強化する。
- ②施設・設備の機能強化：インテリジェント機能、アメニティ機能の充実と、環境問題への対処、バリアフリー化の強化を進める。

- ③大学キャンパスの一体化：2つの公道で隔てられる東、中央、西キャンパス間の交流を活発化する施策を設定する。

4. 財政の充実と強化

西南学院の事業推進と使命達成が可能となるように、資金の獲得、運用、配分、支出に至る財政の充実と強化を進めます。

- ①学外資金獲得の強化：募金事業、収益事業、補助金獲得など、学外資金獲得を目的とした諸方策を強化する。
- ②資産運用の充実：効果的な資産運用のための各種方策を充実する。
- ③財政政策の強化：財政シミュレーションによって収入・支出構造を検証し、効率的な予算・決算を可能とする財政政策を強化する。
- ④財政公開と説明責任の充実：社会的責任を果たし、社会からの支持を得るために、財政公開と説明責任を充実する。

5. 経営の充実と強化

環境変化に柔軟に対応し、継続して各種の変革が可能となるように、経営の充実と強化を進めます。

- ①役職権限の明確化：役職者や部長会議、常任理事会等の権限を強化する。
- ②意思決定機関の整備：会議、委員会を削減し、合理性と正当性を確保した意思決定を可能とするように、意思決定機関を整備する。
- ③意見収集のための制度：幅広く構成員の意見を収集し、意見を反映できるように、制度、組織を整備し、強化する。
- ④経営方法の充実と強化：トップによるビジョンと実施項目の提示、実施の指示、結果の検証という経営サイクルを設定し、経営方法を充実、強化する。
- ⑤事務局の充実と強化：学院の改革、諸活動を先導、支援できるように、事務次長会議で設定した「目指す姿」を達成できるように、事務局を充実、強化する。
- ⑥事務局人事制度の充実：学院の改革、諸活動を先導、支援できるように、教育と研修を含む職員の役職制度と人事制度を充実する。
- ⑦広報機能の強化：学院の諸活動を効果的に伝え、社会からの支持と需要を得ることができるよう、広報機能を統合・強化する。

6. 地域貢献の充実と強化

西南学院が持っている知的資産と奉仕の精神を地域の活性化と発展に役立てるために、地域貢献の充実と強化を進めます。

- ①校友行政の充実：学院の諸活動への協力と支援を得るために、同窓生、保証人とのコミュニケーションを図り、連携を強化する。
- ②学外連携強化：学生の社会貢献活動や、教職員の知的資源を利用した生涯学習の機会提供をはじめとする、教職員の知的資源を利用した貢献活動を充実する。